

JR30年！さらなる先の30年に向けて！ **「17春闘」第2回交渉 開催！**

本部は3月3日、賃金引き上げに関する申入れ「申第4号」第2回交渉を開催し、経済情勢や経営状況等について踏まえた議論を行った。イーストユニオン交渉団は、特に、社会要請である経済の好循環を実現するために、賃金改善はもとより、JR東日本の未来に向けた、維持・発展をめざす意見を強く訴えた。

**賃金改善で、経済の好循環をめざす！そして
人材確保と技術継承を最重点課題とした取り組みを
加速させ、明日のJR東日本を築いていく！**

まず、会社側からは、資料提示により経済を取り巻く情勢と今期の経営動向などの説明があり、今後、情勢動向の先行き不透明感が増す中で、より慎重な判断が求められる、とあった。国内全般では三年連続の賃金引上げにより、所得が上がる一方で、将来不安などにより個人消費に繋がらず、内需の伸びない現状があるといった認識は一致する中、当社においてはグループ一体となった、労働条件や全体のモチベーションの底上げと、経済の好循環に寄与するための賃金引き上げの必要性など、掘り下げた議論を行った。会社側からはグループ会社を含め人材の確保、働く喜びや誇りといったモチベーション、職場の在り方、意識の醸成が大切であるとする意見があった。そういった観点から、職場において新人事賃金制度が有効、有益な反映が見られるよう、現場マネジメントに関わる管理者の指導育成を求める提言などをした。

**17春闘勝利に向け組織一丸となり闘いを押し進めよう
JR東日本を未来へ繋ぐために！**